

岡山県合唱連盟機関紙  
トウッティ 第24号

発行責任者：岡山県合唱連盟  
事務局長 内田 毅  
事務局：岡山市福泊168-7  
TEL/FAX (086) 274-2726

# Tutti

## ゆうぶんげんに 金賞 賞

(中国合唱コンクール)

去る九月三十日、十月一日の両日、広島市の郵便貯金ホールで第三十四回中国合唱コンクールが開催されました。今年から中学校部門も同時開催となり、大会の規模も大きくなりました。都合六十四団体が二日間にわたり全国大会を目指して日頃の練習の成果を発表しました。

岡山県からも十二団体が参加しました。そして昨年の総社西中学校に続いて今年も「コール・ゆうぶんげん」が見事に金賞に輝きました。中学校は昨年からはじめたばかりです。別にして、本当に久しぶりの金賞ではないでしょうか。少なくとも私が連盟に関係しだしてからは始めてです。本当におめでとう。これで来年の岡山での中国コンクールが楽しみになります。

次に、他の部門で特筆すべきは中学校でしよう。推薦団体は昨年同様、島根県に独占されました。その五団体が全国大会では金賞を三つ、銀賞を二つとるので、全国的にも飛び抜けていると言つて良いでしょう。

また、全体では銅賞でしたが渡邊学而先生に一位をいただいた高校もありました。審査員の好みの問題でもありますが、認めていただいたと自信をもつて進めば良いと思います。

さて、全体として徐々に良い方向に向かっていると思えますが、更に飛躍するにはどうしたら良いでしょうか。

こんな事を理事長と話しました。その結論は「まだまだ勉強が足りないね」と言う事でした。その勉強をどのようにするか、という

と、これは一つの提案ですが、次のような事は如何でしょうか。

県コンクールのあと、同じ会場で勉強会を行う。つまり、コンクールが終わって推薦されると、指導者の方は審査員にあれこれと講評を求めに楽屋にこられます。これをステージの上で実際に歌いながら指導していただく。そして客席では聞きながら勉強する。

コンクールは五時には終わりますからたつぷりと四時間は使える事になります。使用料が多少高くなりますが、県代表として頑張っていたのですからその位は持ちましょう。講師の謝礼も少し弾まなければならぬでしょう。何が何となくかましよう。と段々と太っ腹になっていきます。(大丈夫かな)

さらに、折角「近藤安介」という全国大会の審査員を依頼されるような合唱指揮者が身近におられるのですから皆さんもっと指導をおおられたら如何でしょうか。先生は自分から押し掛ける事はなさいませんが、じつと申し出があるのを待たれていないと思えますよ。

さて、来年は岡山で中国合唱コンクールが開催される番です。又連盟の皆さんにはご無理をお願いしなくてはなりません。その中で一団体でも多く良い成績を修めていただく事が、お世話をする者の喜びでもあります。

技術アップを図る事のみがコーラスの目的では有りませんが、それによって歌える曲の範囲が拡大し、よりコーラスを楽しむ事が出来るのだと信じています。ただ、先日全国大会を聴いていて、「いくら上手くなってもこんな曲は歌いたくないな」という所もありました。

聴きに行かれた方も多いと思えます。ご感想は如何でしょうか。また原稿をお寄せ下さい。待っています。

事務局長 内田 毅



第48回岡山県合唱コンクール Photo: 宇大 敬

### #うつつちゃん通信

Tutti第24号をお届けします。このところ合唱団巡りがお休みとなっています。記者がいまないので滞っています。時期を見て再開したいと思います。どなたか記者をやりたい方は申し出て下さい。

名簿の中の各団の連絡責任者等の移動が有りましたのでお知らせします。

・文化センター合唱団の連絡責任者が長谷川大治さんに

住所 岡山市大元駅前一〇一五  
電話 (086) 232-3663

・コール総社の指揮者が  
栢野 富行さんに(カヤノ)

住所 倉敷市川入八五六一八  
電話 (086) 427-1744

・三訂報です。  
コールむらさきの田坂さんが逝去なさいました。謹んでご冥福をお祈りします。今後の連絡は指揮者の吉井さんをお願いします。

事務局長 内田 毅



おかあさんコーラス全国大会

群馬・高崎紀行

コール・ピクルス 高田 幸子

七月初旬の県大会に始まり、今夏ほどコーラスする楽しさを味わった事はなかったのでは、と思います。全国大会への推薦をいただいた事は勿論のことですが、その後の「おかあさんコンサート」、そして八月の「全国大会」と、とかく刺激の少ない主婦の生活の中を、コーラスが大きく占領しました。

ピクルスにとっては十四年ぶり二度目の思いがけない幸運に、前団員参加を合言葉(?)に一層練習に励みました。

ラッキーにも「コンサート」では佐藤陽三先生のご指導に曲のイメージをより膨らませる事が出来ました。又、何にもましてあのすさまじいおかあさんパワーの迫力には、「コンサート」で幾分かの免疫をつけて全国大会に臨めたことは、少人数で参加する私にとっても心細さが和らぎました。

八月も終わりの二十六日の高崎は暑く、パーティー後のホテルへの帰路もころなしか(翌日の出演の思いも熱く)舗道のほてりが一層暑く感じました。

今年はグランプリが二団体。

その内の一つは、偶然にもオーブニング前に声をかけたおかあさん達。(衣装が素敵だったので、一緒に写真を撮らせていただきました。)あと一つは、私の後輩二人がコーラスしているおかあさん達。(以前から彼女達の練習ぶりは耳にしています)ですが、成果が実ったね。二団体とも会場で聴く事が出来ま

したが、私の脳の中にピンピンと感じたのを覚えています。加筆すれば「コンサート」でお会いたした講師の先生方とお会いできた事も素晴らしいです。本当に素敵な夏を有り難うございました。



## 中国

### 合唱コンクールを振り返って

コール・ゆうぶんげん 青木千春

去る九月三十日、十月一日の二日間にわたり、広島郵便貯金ホールにおいて中国合唱コンクールが開かれ我がコール・ゆうぶんげん(以下ゆうぶんげん)は二日目の一般の部に参加しました。

一当日の回想

当日は朝から天気が悪く、ホテル(前日より広島へ宿泊)を出た頃は雨が降っていた。発声程度の練習を終え会場へ移動。確かその頃には雨はほとんど止んでいた。

会場のホールは参加者でごった返しており、その間を縫うようにしてリハ室、更衣室へとエレベーターで上がっていく。ばたばたと更衣とリハ・サルまで終わり、舞台袖で待機。前の団の演奏に耳を傾け、押し寄せる不安と必死になって戦っているこの時間は実に長く感じる事か。

アナウンスが流れ、さあ我々の番だ。一瞬で終わってしまうコンクールのステージで、自分達の力を出し切る事は本当に難しい。実力を出せないのは練習不足だからと言われればそうなのだが。

ゆうぶんげんは今年で四回目の中国合唱コンクールである。今年のコンクールには結構気合いが入っていたのに、この日の演奏は、団員それぞれ言い分は違うようだが、総じて出来のいいものではなかったと感じていた。かなり気落ちしていたが、お弁当を食べて気を取り戻し(こんなに単純なのは多分私だけ)、午後からはBグループの演奏を聴いた。

やはり毎年全国大会へ行っているような団体は貫禄がある。短い時間だが自分達の世界を作り上げていた。技術的にももちろん優れているのだが、どこかゆうぶんげんにはない力を感じた。

さてさて、そうこうしているうちに皆様お待ちかねの結果発表の時がやってきた。パンフに結果をメモしようとして鉛筆を用意する。近藤支部長より次々と成績が読み上げられていく。きたっ、ごくっ、ゆうぶんげん・ゴールド金賞。信じられなかった。私は手が震えてもうメモを取るところではなかった。とにかく信じられない一言。

全国大会推薦団体には漏れてしまったが、今までは最高の成績だった。やっと道が少し開けてきた気がして本当に嬉しかった。その日は広島市内で打ち上げをやり、大いに盛り上がり、皆岡山への帰路について、焦燥、不安、失望、少しの期待、歓喜、全ての気持ちが自分の中で駆け巡った長い一日が終わった。

まだまだ中国支部の厚い壁を破る事は出来ませんでした。しかし、来年こそ(岡山で開催される事です)はあの短い時間にホールの中の聴衆を我々の世界に引き込むような演奏をしたいと思えました。

そして、いつの日か全国という舞台の上で、私たちの合唱を聴いて貰えるようにがんばろうと再度誓い合いました。

この中国コンクールは我々に取って、また一つ先へ進むエネルギーが沸いてくるような、刺激的な大会であったように思います。



# カンテムス 少年少女合唱団 を聴いて

犬飼 将博

前々回にお知らせした「カンテムス少年少女合唱団」の演奏会と講習会に行ってきました。私の仲間に感想を書いてもらったので紹介します。  
◎七月三十日(日)演奏会  
兵庫県稲美町 コスモホール

湧き立つような歌声だった。一つの響きの塊があるみたいだった。あんまり穏やかに歌っていて、何か始めてみる合唱のようでした。これからはチャンスがあれば絶対聴きに來るぞーと思いました。(井上陽子)  
感動しました。体が震えました。涙が出そうでした。こんなに心を動かすほどの演奏は初めて聴きました。合唱ってこんなに素敵なものなんですね。私は今、大学でミサ曲をやっています。いつも世俗的すぎると言われます。今日の演奏を聴いてミサ曲はこんな雰囲気でも歌うものなんだと気付きました。これから歌っていく上で勉強になりました。次からは私はずっと違った歌い方が出来るでしょう。(岩永亜弥子)  
文句のつけようのない演奏でした。高音のフォルテも叫ぶ事なく、瘦せる事なくよく出ていました。低音は少年のような中性的な声で、まるで混声を聴いているような部分もありました。あと、曲間の笑顔がイイ。(吉多 淳)

みんな愛嬌があつてステキだった。それは、サヴォー先生のキャラクタ―故だと思ふ。演出もおもしろい。本当に加古川にきて良かったです。(信久ひとみ)  
余りにも透明で、清らかで、自然で、美しく、自分も清められていくような響きに心の底から感動しました。泣けて泣けて、手も足も震えて困りました。声が彼女達の体から遊離した所で鳴っていて、それが一つの塊となって聴き手の心の奥まで響きわたる。こんな風に歌えたら・・・。ピアノも素晴らしかった。サヴォー先生と子供達の間で溢れる信頼と愛情も伝わってきて、本当に何もかも素晴らしい演奏会でした。いつかまた絶対に彼女達に合いたいなあ・・・。(広門里余子)  
ユニゾンの美しさに驚かされた。素敵な歌声で聴いてとても気持ち良かった。ぜひ岡山でも演奏会を開いて欲しいと思う。(川上貞永)  
本物のユニゾンを聴きました。本物の合唱(ハーモニ)を聴きました。世の中の全ての精霊の声を聴きました。私の心の奥の奥まで。(高橋史子)

自然な歌い方ながら完全な美しさだった。眼光が十五・六歳とは思えないほど落ちついている。まるで礼拝堂にいるような静かな、そして体の内側から感動するようなステージだった。一人一人に存在感があり、自由に自己表現しているにもかかわらず、全体として一つの存在感を強く示すのだ。(藤田淳史)  
カンテムス合唱団の存在を知ったのはつい最近の事でしたが、犬飼さんの「いい！」と言う一言を信じてはるばる聴きに來て本当に良かった。心から楽しんで歌っている事を、私

たちもずっと忘れたくない。(滝沢順子)  
全ての動作が自然で空気のような歌声でした。その空気の中にいられる自分達がつとも幸せに思えました。カンテムスはこういう歌なんだと感動しました。ハーモニがとってもきれいで震えがきました。指揮者と子供達のコミニケーションがとっても良かったです。ずっと聴いていたいなあ。(片岡ますみ)  
透き通るような高音で良かった。素晴らしいユニゾンだった。(村田 直文)  
とても素直な声で聴いていて気持ち良かった。僕ももっと素直になりたい。(長岡 雅之)  
素晴らしい。雰囲気がいい。自然な歌い方をしている。すごい響きだった。(あの表情で・・)指揮者がすごい。(山本 明宏)  
すごかった。合唱を始めて一年ちょっとの初心者ではあるが、すごくうまいと思った。何か根本的な違いのような圧倒的なもののような。尊敬より呆れてしまった。(鎌田 昌宏)

◎八月四日(金)高槻市民会館  
少年少女合唱指導者  
講習研修全国大会において  
指揮者デーネシユ・サヴォー先生の  
の講習とミニコンサートは、  
カンテムスがあればいいのは、  
なるほどというワケか、そりゃ当然だ・・・と納得できた素晴らしい一日だった。それは、そのための勉強は勿論の事、それを歌へとつなげ表現していくためのトレーニンング・ウォーミングアップのたまものなのだ。気付いてみれば当たり前なのかも知れないけれど、それを実行

できている指導者を私は余り見た事がなかったし、それなのに、あれほど高度なものを突然目の当たりにしたので本当にショック&感動だった。そしてサヴォー先生の教えをこえないのを残念に思った次第だ。  
それにしてもピブラート一切無し完璧なカンテムス・ハーモニを聴いてしまうと、会の最後にみんなが歌った「ふるさと」を私の背後でピブラートたつぷりに歌うママさんが耳に障りまくって苦しかった。(信久ひとみ)  
彼女達の音感の素晴らしさに大変驚かされました。指揮者のサヴォー氏の指導がすごいのだと思いました。彼女達の歌声を聴いたら、もう他のどんな合唱団(日本の)の演奏も聴けなくなりそうです。(山本聖子)  
実際にどんな音だったかは、生で聴かないと判りませんが、次回の来日予定は有りませんが、その時はぜひ岡山にも来て貰いたいものです。みんな呼びましょう。それまで待たない人はハンガリーまで一緒に聴きに行きませんか?  
詳しい内容についての問い合わせは左記へどうぞ。  
〒466  
名古屋市昭和区白金  
一丁目五十一-二〇五  
犬飼 将博  
(052) 872-4136



## コ ン サ ー ト 情 報

- ◇ 就実女子大学・短期大学グリークラブ第27回定期演奏会  
 日 時 : 平成7年12月6日(水)7日(木)の2回公演 18時半開演  
 会 場 : 岡山県総合文化センター(岡山市天神町)  
 曲 目 : はらっぱのうた(新実徳英)、合唱ミュージカル「ながぐつねこ」  
 入 場 料 : 500円(前売り400円)  
 お問い合わせは (086)421-5152 西谷まで
- 
- ◇ 岡山大学グリークラブ第42回定期演奏会  
 日 時 : 平成7年12月9日(土) 18時開演  
 会 場 : 岡山市民会館(岡山市丸の内)  
 曲 目 : 動物たちのコーラル第2集、ひとりぼっちの夏、岡山の艶笑譚(委嘱)  
 入 場 料 : 700円(前売り500円)  
 お問い合わせは (0866)92-4543 小見山まで
- 
- ◇ 岡山理科大学混声合唱団クリスタルコール第19回定期演奏会  
 日 時 : 平成7年12月16日(土) 18時開演  
 会 場 : 三木記念ホール(岡山市古京町)  
 曲 目 : 組曲「海鳥の歌」(広瀬量平)、悪魔の飽食(池辺晋一郎)他  
 入 場 料 : 500円  
 お問い合わせは (086)223-6536 柏田まで
- 
- ◇ ノートルダム清心女子大学グリークラブ第32回定期演奏会  
 日 時 : 平成8年1月13日(土) 18時半開演  
 会 場 : 岡山市民会館(岡山市丸の内)  
 曲 目 : Missa in nonoren Sancti Josephi、待ち人ごっこ(高嶋みどり)  
 六つの子守歌(池辺晋一郎)、おかあさんのばか  
 入 場 料 : 700円  
 お問い合わせは (086)256-2264 平川まで
- 
- ◇ 中国短期大学フラウエンコール第28回定期演奏会  
 日 時 : 平成8年1月14日(日) 17時開演  
 会 場 : 三木記念ホール(岡山市古京町)  
 曲 目 : 童謡曲集、映画音楽「天使にラブソングを」、組曲「葡萄の歌」他  
 入 場 料 : 500円  
 お問い合わせは (086)465-8005 高木まで
- 
- ◇ 岡山大学男声合唱団コール・ロータス第35回定期演奏会  
 日 時 : 平成8年1月20日(土) 18時開演  
 会 場 : 岡山シンフォニーホール(岡山市表町)  
 曲 目 : 尾崎喜八の詩より(多田武彦)、OBステージ「月光とピエロ」(清水修)他  
 入 場 料 : 800円(前売り700円)  
 お問い合わせは (086)255-7367 池内まで
- 
- ◇ 津山市民コール「アンダンテ」第4回定期演奏会  
 日 時 : 平成8年2月25日(日) 13時半開演  
 会 場 : 津山文化センター  
 曲 目 : 教会小品集(モーツァルト)、日本民謡、組曲「風の歌」(大中 恩)  
 入 場 料 : 500円  
 お問い合わせは (0868)66-0013(小島)、(0868)42-2265(坂手)まで
- 
- ◇ コール・アニマ第1回定期演奏会  
 日 時 : 平成8年3月10日(日) 14時開演  
 会 場 : ライフパーク倉敷大ホール(倉敷市福田古新田)  
 曲 目 : うたはセ・シ・ボン、組曲「心の四季」(高田三郎)他  
 入 場 料 : 未定  
 お問い合わせは (086)429-0635 竹森まで